

お知らせ

書籍  
『現場に生きる  
一仕事への拘りと誇りを胸に』  
を出版

創立75周年を記念して、当社の業務内容を紹介する書籍「現場に生きる一仕事への拘りと誇りを胸に」を出版しました。同書籍は、現在、全国の書店およびインターネット（電子書籍、通信販売サイト）で販売しています。

書名：現場に生きる一仕事への拘りと誇りを胸に  
著者：岡田 晴彦  
発売：ダイヤモンド社  
発行：ダイヤモンド・ビジネス企画  
定価：本体1,500円＋税  
紹介HP：ダイヤモンド社：https://www.diamond.co.jp/book/9784478084731.html

◆書籍の内容

当社の業務（電柱工事、地中線工事、屋内電気設備工事、空調衛生設備工事、情報通信工事、海外での電気工事やインフラ整備、研究開発、安全教育、人材育成など）を取り上げ、社員が業務に奮闘する姿をドキュメンタリーに描きながら、第一線の工事現場に臨む当社の社員たちが胸に抱く「こだわり」「誇り」「喜び」などを伝えています。



2020 Spring & Summer  
TOENEC NEWS  
トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回（1月・4月・7月・10月）発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31  
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ  
TEL 052-219-1906  
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している  
以外にも当社の最新  
ニュースや施工実績を  
HPでご覧いただけます。



マスコットキャラクター  
つながリン

No.8・9

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言への対応に伴い、4月号（No.8）と7月号（No.9）の合併号となります。

中期経営計画2022（2020年度～2022年度） サブタイトル：人材投資によるさらなる成長

このたび当社は、前中期経営計画（2017年度～2019年度）の終了に伴い、中期経営計画2022（2020年度～2022年度）を策定しました。

前中期経営計画では、地盤である中部圏に加えて、首都圏における営業活動を強化するとともに、海外などの成長分野において事業拡大を図りました。また、太陽光発電事業への投資や、タイの電気・空調管工事会社への出資など、成長への投資を行ってきました。こうした事業拡大と成長への投資は引き続き展開していきます。

当社がさらに成長するためには、お客さまの高い期待に応え続けることが大切です。このため、中期経営計画2022では、人に関わる投資を積極的に行うことで、当社の人材を質・量ともに充実させ、生活と社会のインフラを支えるプロ技術者集団として確固たるものとします。さらに、安全風土の確立、働き方改革の推進、技術力の強化などに取り組むことにより、高品質施工でお客さまから選ばれる企業にしていきます。これら事業基盤の強化を図ることにより、人に、社会にやさしい企業を目指します。



代表取締役社長

大野 智彦

2022年度の数値目標（連結） 売上高2,450億円 経常利益120億円 ROE 6.5%

※2022年度数値目標には、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を織り込んでいません。このため、業績への影響が見通せた段階で、必要に応じて数値目標を見直します。

重点方針1 事業拡大と基盤強化

- ①営業力の強化 ●総合営業体制の確立・要員増強などによる受注拡大 ●グループ会社（海外現法含む）と一体となった受注活動の展開
- ②施工力の向上 ●施工要員の増強と早期戦力化 ●継続的な発注などによる協力会社の確保 ●M&Aによる施工力の向上
- ③重点事業エリアの強化・拡大 ●産業集積エリアである中部圏 ●建設需要が集中する首都圏 ●将来性あるアジアでの国際事業

重点方針2 収益力向上に向けた競争力の強化

- ①効率化・生産性向上の取り組み強化 ●かいぜん活動などによる効率化・生産性向上施策の推進 ●総務・経理等の事務系業務の効率化による競争力の強化
- ②コスト競争力の強化 ●工事原価の低減 ●資材購買力の強化
- ③技術力の強化 ●一般工事における設計・特高・計装技術の強化 ●同業他社に負けない配電技術力の保有、工具・機材の開発・導入 ●付加価値の創出・効率化に資する技術研究開発の強化
- ④全社視点でのシステム開発の推進

重点方針3 人材の育成強化

- ①新入材育成方針にもとづく育成強化と教育の充実 ②働きがいのある職場づくり

重点方針4 企業風土改革の推進

- ①安全風土の確立 ●絶対に災害を発生させない職場風土の確立 ●施工不完全事故・施工不良の撲滅と品質の向上
- ②働き方改革の推進 ●効率化施策の展開と定着 ●社員の意識改革と働き方改革推進に向けた仕組みづくり
- ③コンプライアンスの徹底 ●実効性あるコンプライアンス施策の展開
- ④ダイバーシティの推進



当社の陸上競技部の新入部員を紹介します。



かわ むら かず き  
河村 一輝 選手

1997年11月13日生まれ／岐阜県出身

Q ストロングポイントは

A 1500mに自信があります。2019年の日本選手権では、同種目で7位入賞できました。私のスピード感ある走りに注目してほしいです。

Q 実業団1年目の目標は

A 2020年の日本選手権1500mの出場権を獲得しているので優勝を目指しています。駅伝ではどの区間でも走れるように総合的に力をつけていくことが今の練習テーマです。



なか むら かける  
中村 駆 選手

1997年5月11日生まれ／山口県出身

Q ストロングポイントは

A 「フォームがきれいだ」とよく言われます。また、距離に関係なく走れる万能さが長所だと思います。

Q 実業団1年目の目標は

A 出場する全てのトラック種目での自己ベスト更新が目標です。トラックで成果をあげることができたら、それを駅伝へつなげ、ニューイヤーで当社最高順位の更新に貢献します。



たか はた ゆう き  
高畑 祐樹 選手

1997年10月14日生まれ／滋賀県出身

Q ストロングポイントは

A 前半から攻めながらも、途中でダウンすることなく、ラストスパートまでパワーを維持できる持久力です。

Q 実業団1年目の目標は

A 5000mからハーフマラソンまでマルチに走れる長所を生かし、トラック種目の日本選手権出場、ニューイヤーでの1区、この2つを狙ってトレーニングを積んでいます！

当社グループは、前中期経営計画(2017年度～2019年度)に基づき、屋内線工事、空調管工事および通信工事では、中部圏に加えて、首都圏における営業活動や海外事業基盤の強化を図りました。電力関連工事においては、業務効率化およびコスト削減に一層努めました。さらに、将来を見据えた投資として、太陽光発電事業の拡大に努めました。

その結果、当期の業績は、売上高につきましては、電力関連工事の減少はあったものの、空調管工事など一般得意先向けの工事が増加したことや、太陽光発電事業の売電収入が増加したことなどにより、増収となりました。利益面につきましては、一般得意先向け工事の採算性改善に加え、年金制度見直しによる退職給付費用の減少などにより、各利益とも増益となりました。

■ 連結・個別経営成績(単位:百万円)

	2020年3月期		2019年3月期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	224,843 (2.7%)	203,392 (3.3%)	218,984 (5.7%)	196,866 (4.3%)
営業利益	13,307 (20.7%)	11,143 (18.9%)	11,029 (22.5%)	9,373 (34.4%)
経常利益	12,511 (23.3%)	10,223 (19.4%)	10,146 (13.8%)	8,563 (24.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (個別は、当期純利益)	9,314 (39.6%)	7,904 (36.4%)	6,672 (15.4%)	5,796 (31.5%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

■ 部門別の概況(個別)(単位:百万円)

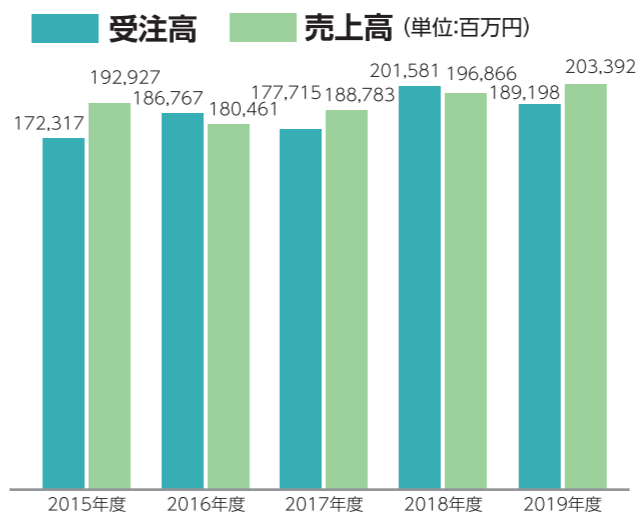
区分	受注高※1	前期比	売上高	前期比	
設備工事	配電線工事	77,101	0.5%	75,479	1.6%
	地中線工事	10,036	△12.2%	9,939	8.2%
	通信工事	18,203	△10.5%	16,829	3.6%
	屋内線工事	65,814	△9.4%	70,549	△0.0%
	空調管工事	18,042	△11.8%	18,881	9.2%
	計	189,198	△6.1%	191,679	2.2%
兼業事業	エネルギー事業※2	—	—	7,611	43.7%
	商品販売	—	—	4,101	2.7%
	計	—	—	11,713	26.1%
合計	189,198	△6.1%	203,392	3.3%	

※1 受注高は設備工事に対応する金額を記載

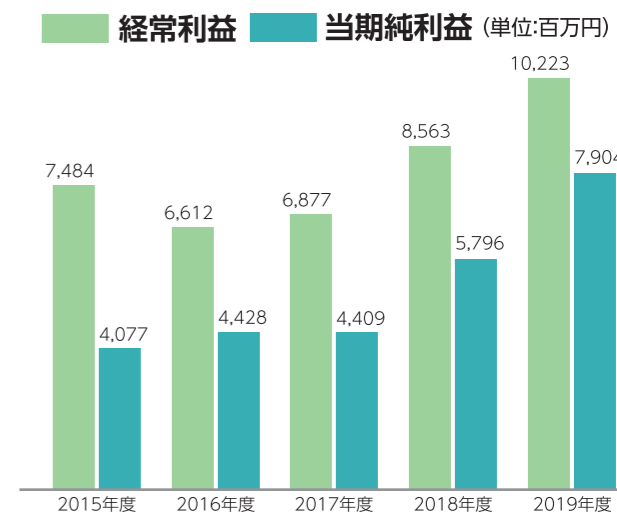
※2 エネルギー事業…太陽光発電事業、学校空調システムサービス、マンション高圧一括受電サービス事業

■ 業績の推移(個別)

□ 受注高・売上高



□ 経常利益・当期純利益



愛知県国際展示場  
Aichi Sky Expo

国内初の空港直結型国際会議・展示場である、愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo が2019年8月にオープンしました。当社は同展示場の電気設備を施工しました。

施工メモ

今回の現場は、中部国際空港(セントレア)がある

空港島内にあったため周囲を海に囲まれており、海から強い風が吹いていました。そこで、隣接する空港の滑走路内や、周囲の海へ資材などを飛散させることのないよう、資材を保管する際はコンテナへ収容したりネットを掛けるなどの飛散防止策を徹底しました。

また、展示場内は空港からの振動があったため、振動により天井に取り付けている機器やケーブルラック支持材などのボルトやナットが緩んで機器類などが落下することのないよう、全てのボルトとナットに増し締めと緩み確認のマーキングを行うとともに、機器には全て脱落防止処置を施工しました。

施工概要

- 工事場所 愛知県常滑市セントレア5-10-1
- 工期 2017年9月1日～2019年6月15日



オトリバースайд  
テラス

名古屋鉄道の東岡崎駅からペDESTリアンデッキ※によって直結する複合施設「オトリバースайдテラス」が2019年11月にオープンしました。当社は同施設の電気設備を施工しました。

施工メモ

同施設は、地上5階建ての北店舗棟、地上3階建て

の南店舗棟、地上9階建てのホテル棟で構成されています。施設名の「オト」とは目の前を流れる「三河(おとがわ)」とジャズの街である岡崎に響く楽器の「音」を掛け合わせた言葉となっているそうです。

同施設は、東岡崎駅前の顔になる建物であったため、外壁や屋上が美しく照らされるようライトアップの見え方に特にこだわりました。また、現場は車両や通行人の往来が非常に多い駅前にあつたため、資機材の搬入・作業時などは安全管理・工程管理をしっかりと行い、第三者災害防止に努めました。

施工概要

- 工事場所 愛知県岡崎市上明大寺町二丁目14番1他
- 工期 2018年4月10日～2019年10月31日